

事業計画概要書

湯田川・大塚川地区

水利施設等保全高度化事業

畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備中山間地域型）

（農業用排水施設工種）

(様式第 7－1 号)

事業計画概要書

湯田川・大塚川地区 水利施設等保全高度化事業
畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備中山間地域型）

(農業用排水施設工種)

第 1 章 目 的

本地区は、長崎県雲仙市に位置し、吹ノ原集落、大熊一集落、中阿母集落の中にある湯田川と大塚川(両河川ともに普通河川)沿いに拓けた水田地域に位置している。

本地区は雲仙市の中でも特にブロッコリーの営農が盛んな地域に属しており、更なる産地拡大のために本地区においてもブロッコリーの作付面積拡大が期待されている。

しかしながら、本地区は「山田原地区」「山田地区」「山田原第 2 地区」と基盤整備事業が完了した地区に囲まれた未整備エリアとなっており、現況は狭小不整形であり、地区内の道路が狭く営農効率が非常に悪い。

このため、区画整理を行うことで、効率的な営農による生産コストの削減を図り、併せて、担い手農家への農地集積と経営規模拡大を目指す。また、畑地かんがい施設の整備を行い、水田畑地化を進めることで単収を増加させ農業経営の安定を目指す。

本計画の関係面積は次のとおりである。

農業用排水路

(h a)						
地目 面積	田	畑	山 林 原 野	その他	道 路 水 路	合 計
現 況	16.4	1.1	0.1			17.6
計 画		17.6				17.6

第 2 章 地域の所在及び現況

受益地は本市の北西部に位置しており、標高は3m～48m、平均傾斜度5° の水田地帯となっている。受益地については、長崎中央卸売市場まで35 分の距離にある。福岡・関西・関東市場までは、陸路輸送の場合で高速自動車道（諫早インター）まで30分、航空輸送の場合で長崎空港まで一般道利用で50 分と恵まれた条件下にある。

第 3 章 基本計画

本計画地域では、効率的な農業を実現し生産性の向上を図るため、区画整理や農業用排水施設などの農業生産環境を整備するとともに、生産者の経営安定化や後継者の育成を支援する。

農業用排水施設計画（A＝17.6ha）

本地区は、現況農地の大部分が水田であり、かんがい施設（パイプライン）は未整備である。このため、防除作業については、近傍スタンドにてタンクに給水し各ほ場までトラック運搬して

おり、経営コスト、営農労力削減の障害となっている。また、作付時期、収量等については、天水による影響を受けるため、年間を通した計画的な農業経営が困難な地区である。今回、水田畑地化を行うことに伴い、畑かん施設を整備する事により、安定した散水が可能となり、農作物の発芽率、品質、収量等の向上が図られ、農業所得の増加が期待されるとともに、水管理の営農労力の削減が図られ、区画整理と併せた農地流動化による営農規模拡大が図られる。

第4章 工事又は管理の要領

(1) 工事内訳

(単位：千円)

区 分	農 業 生 産 基 盤 整 備						事業費 計
事業名	農業用排水施設整備						
事業種別	工 種	事業内容	事業費	工 種	事業内容	事業費	
本工事費	水源施設	1 式	9,100				
	送水施設	2,086m	32,560				
	貯水施設	1 式	39,300				
	配水施設	7,643m	156,540				
	末端施設	17.6ha	49,500				
	計			287,000			
測量及び 試 験 費		1 式	37,000				37,000
機械器具 費							
営 繕 費							
用地及び 補 償 費			2,000				2,000
換 地 費							
合 計			326,000				326,000
工事雑費							
事 務 費		1 式	16,300				16,300
総事業費			342,300				342,300

(2) 管理内容

造成された施設については、事業完了後に、編入予定である雲仙市土地改良区へ譲与し、管理を雲仙市土地改良区で行う。

第5章 換地計画の要領

該当なし

第6章 費用の概算

① 事業費 342,300 千円

② 負担割合

(単位：千円)

種 別 \ 負担者		国庫補助金	県費補助金	地元負担金		計
				市町村	受益者	
農業 用排水 施設	工事費	179,300	89,650	39,120	17,930	326,000
	負担割合	55%	27.5%	12.0%	5.5%	100%
	事務費		16,300			16,300
	負担割合	0%	100%	0%	0%	100%
	計	179,300	105,950	39,120	17,930	342,300
合 計		179,300	105,950	39,120	17,930	342,300

第7章 効用

(単位：千円)

区 分 \ 項 目	年総見込効果額	年増加見込所得額	備 考
作物生産効果	15,554	15,406	
営農経費節減効果	7,569	7,569	
維持管理費節減効果	-732	-732	
国産農産物安定供給効果	967		
合 計	23,358	22,243	

〈備 考〉総費用 : 279,948 千円
 総便益 : 354,878 千円
 総費用総便益比 : 1.26 (354,878 千円 / 279,948 千円)

第8章 他の事業との関係

湯田川・大塚川地区 水利施設等保全高度化事業 畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備中山間地域型）（区画整理工種）と併せて施工する

第9章 計画概要図

別紙のとおり

令和8年度新規採択希望
水利施設等保全高度化事業
畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備中山間地域型）

計画一般図

縮尺 1 : 15,000

湯田川工区

大塚川工区



湯田川・大塚川地区
かんがい計画平面図

縮尺 1 : 3,000

3ローテーションブロック
(大塚川工区) A=4.0ha

2ローテーションブロック
(湯田川工区) A=6.0ha

1ローテーションブロック
(湯田川工区) A=5.1ha

凡	例
	計画水田
	計画畑(1R)
	計画畑(2R)
	支線道路
	幹線道路
	現況道路
	用水路
	現況用水路
	排水路
	現況排水路
	現況河川
	地区境界
	橋土法面
	切土法面

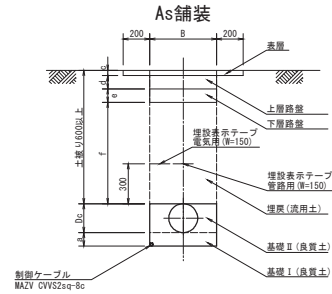
1 現場番号
1224
12.3
2 現場面積(m²)
現場標高(m)

図面の名称	図面番号
ローテーションブロック 計画図	
縮尺 1 : 3,000	
測量 令和 年 月 終了	
設計	
製図	
図複写	

0 50 100 200m

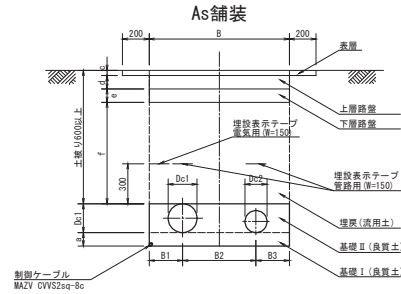
管埋設標準断面図

S=1 : 20



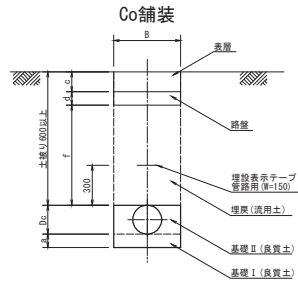
寸 法 表

タイプ	螺旋構成			管 種	管 径 (mm)	外 径 (mm)	掘削幅 (mm)	底壁厚 (mm)	埋 入 (mm)
	表 層 c	上層路径 d	下層路径 e						
As-1型	再生密粒度As 30mm	M-30 60mm	RC-40 100mm	VP・VH	200	0.216	0.50	0.10	0.41以上
				VP・VH	150	0.165	0.50	0.10	0.41以上
				VP・VH	100	0.114	0.50	0.10	0.41以上
				VP・VH	75	0.089	0.50	0.10	0.41以上



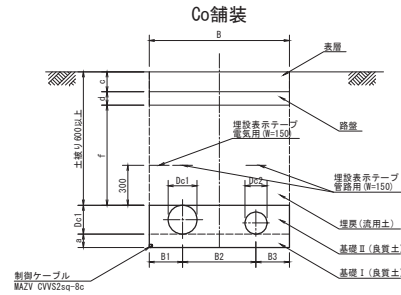
寸 法 表

タイプ	補強構成			管 種	管 径 φ (mm)	外 径 φ (mm)	外 径 Dc1 (mm)	外 径 Dc2 (mm)	振剛係 B (mm)	振剛係 B1 (mm)	振剛係 B2 (mm)	振剛係 B3 (mm)	基礎厚 a (mm)	埋 入 f (mm)
	表 層	上層路 径 d	下層路 径 e											
W-A2-1型	再生密度粒度 30mm	M-30 60mm	RC-40 100mm	VP・VH	100	100	0.114	0.114	0.97	0.25	0.47	0.25	0.10	0.41mm
				VP・VH	150	100	0.165	0.114	0.99	0.25	0.49	0.25	0.10	0.41mm



寸 法 表

タイプ	継ぎ手構成		管 種	管 径 (mm)	外 径 D _c (mm)	密着係 B	基礎厚 a (mm)	埋 入 f (mm)
	表 層 c	路 盤 d						
Co-1型	コンクリート (σ=18N/mm ²) 120mm	RC-40 200mm	VP・VH	75	0.089	0.50	0.10	0.35以上
			VP・VH	100	0.114	0.50	0.10	0.35以上
			VP・VH	150	0.165	0.50	0.10	0.35以上



寸 法 表

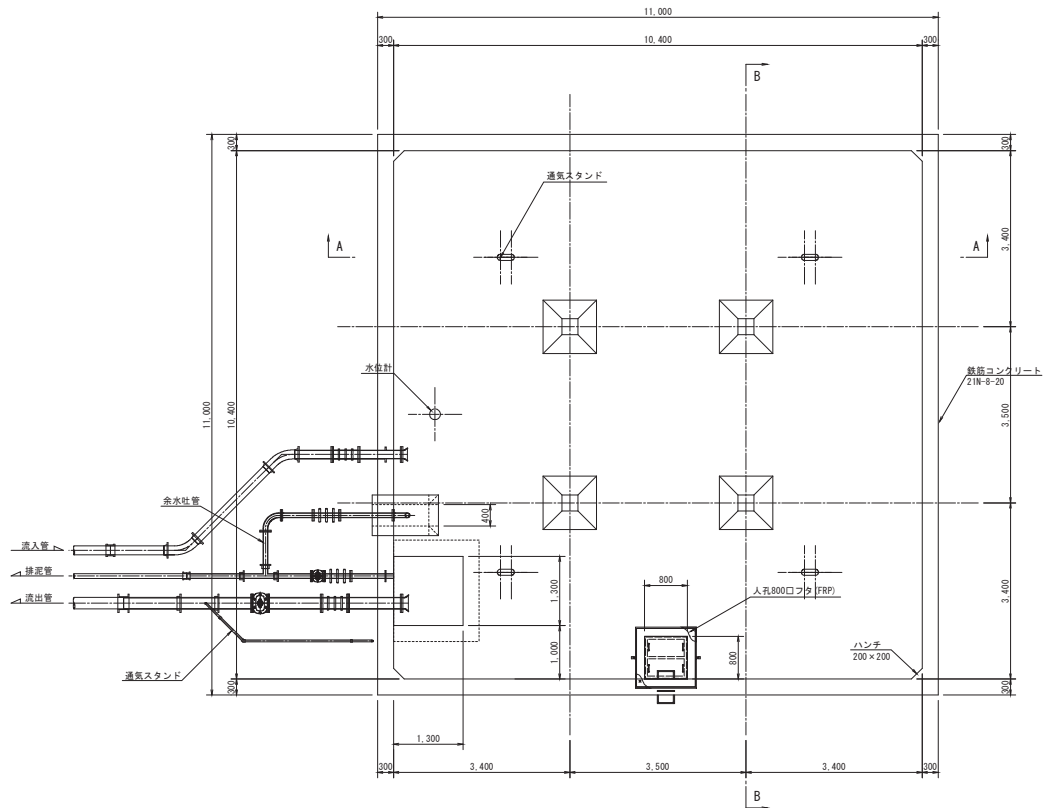
タイプ	継接構成		管 理	管 径 (mm)	外 径 DeI (mm)	外 径 DeZ (mm)	掘削幅 B (mm)	掘削幅 B1 (mm)	掘削幅 B2 (mm)	掘削幅 B3 (mm)	基礎厚 a (mm)	埋 入 T (mm)	
	表 層	路 盤											
W-Co-1型	コンクリート ($\gamma=24$ (kg/m ³)) 120mm	RC-40 200mm	VP・VH	100	100	0.114	0.114	0.97	0.25	0.47	0.25	0.10	0.35φ
			VP・VH	150	150	0.165	0.114	0.99	0.25	0.49	0.25	0.10	0.35φ

図 面 の 名 称		図面番号
管理設標準断面図		4
縮尺 S=1:20		
測 量	平成 年 月 日終了	
設 計		
製図	原 図	
	複 写	
長 崎 県 島 原 振 興 局		

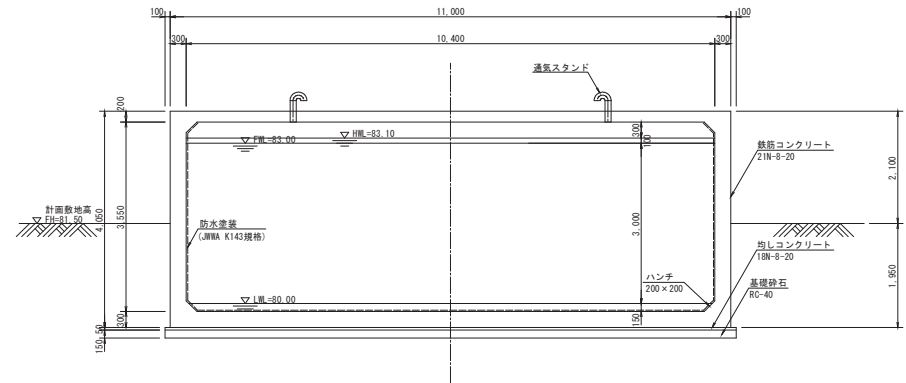
※制御ケーブル及び埋設表示テープ(電気用)は 送水管路線のみに敷設する。

ファームポンド構造図

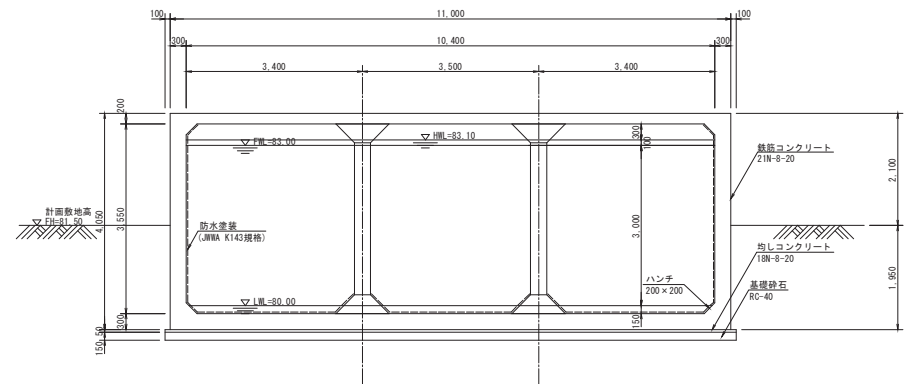
平面図
S=1:50



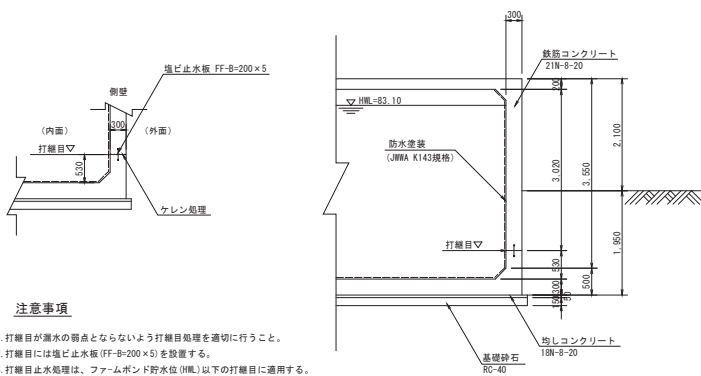
断面図
S=1:50



断面図
S=1:50



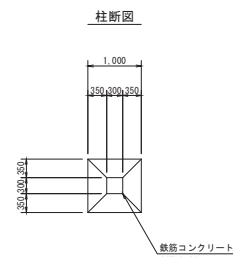
打継目止水処理詳細図
S=1:50



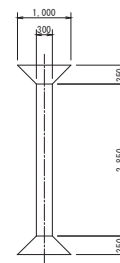
注意事項

- 打継目が漏水の弱点とならないよう打継目処理を適切に行うこと。
- 打継目には塩ビ止水板 (FF-8-200×5) を設置する。
- 打継目止水処理は、ファームポンド野水位 (HNL) 以下の打継目に適用する。

柱詳細図
S=1:50



側面図



ファームポンド 計画諸元

名称	瀬田川・大塚川地区ファームポンド
構造形式	RC造 (フラットスラブ形式)
実容量	323 m ³
H.W.L.	83.10 m
F.W.L.	83.00 m
L.W.L.	80.00 m
有効水深	3.00 m
計画流入量	0.008 m ³ /s
計画流出量	0.018 m ³ /s
基礎構造	直接基礎 (想定)

図面の名称		図面番号
ファームポンド構造図		4-1/1
縮尺	図示	
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
長崎県島原振興局		